

令和7年度碧南ふれあい作業所指定管理者審査委員会 会議録

1 日時

令和7年8月1日（金）午前10時から午前11時20分まで

2 場所

碧南ふれあい作業所 3階 会議室

3 出席者

(1) 出席委員

碧南市副市長	山本 政裕（委員長）
東海税理士会刈谷支部本会理事	伴野 義雄
日本福祉大学教授	青木 聖久
民生委員協議会代表	古久根 久美子
地域自立支援協議会就労支援部会長	高松 有美
碧南市企画政策課長	山本 貴史

(2) 事務局職員

福祉部長	伊藤 正博
福祉課長	磯貝 浩
福祉課福祉総務係長	金原 寛

(3) 指定管理者

碧南ふれあい作業所所長	渡邊 明香
社会福祉法人WHJ理事長	竹内 涼
社会福祉法人WHJ法人本部経理部長	熊本 直孝

4 傍聴者

0名

5 議題

- (1) 令和6年度事業報告及び収支決算について
- (2) 令和7年度事業計画及び収支予算について
- (3) その他

6 議事の要旨

- (1) あいさつ（山本委員長）

## (2) 議題

### (施設紹介)

#### (1) 令和6年度事業報告及び収支決算について

指定管理者が会議資料に基づき、議題(1)を説明した。その後、審議した結果、承認された。

#### <主な意見・質疑>

##### 【委員】

碧南市からの指定管理料はどの項目に入っているか。

##### 【指定管理者】

その他事業収益(0078)のうち、補助金事業収益(公費)(5371)に入っている。

##### 【委員】

指定管理料の内訳は。

##### 【事務局】

レクリエーション事業と自動車保険料。

##### 【委員】

他施設の指定管理料では人件費も含まれている。説明の中で報酬単価の上昇で事業収益が減っているとあったが、自助努力では難しい部分があるため、どこかでやり方を変えていくことも考える必要があると感じた。

##### 【指定管理者】

以前は人件費も指定管理料に含まれていたが、国の補助金が出たことによって現在の指定管理料となっている。指定管理施設では、報酬単価補助率が低いというデメリットはあるが、修繕に関しては市と協議となるが、市の予算で対応してもらっている点はメリットである。指定管理料の増額は希望としてはあるが、今後も協議を重ねたい。

##### 【委員】

施設の老朽化が進んでいると思うが、修繕について今後の計画は。

##### 【指定管理者】

令和7年度はエアコン修繕、8年度にLED化を予定している。

##### 【委員】

利用者の新規数や全体利用者数がなかなか伸びない具体的な理由はあるか。

**【指定管理者】**

傾向的に生活介護より就労継続支援B型を希望される方が多い。生活介護の需要が減り、保護者が就労を目的に施設を探す傾向が強くなってきている。

**【委員】**

生活介護という内容だが、手当も出しているのか。

**【指定管理者】**

月額6,000円～20,000円出している。就労を目指す通過点として利用してもらえよことのPRが必要だと考える。

**【委員】**

市外利用も可能となっているが、1日あたり市外の方は利用しているのか。

**【指定管理者】**

高浜市から2名の利用がある。西尾市からも問い合わせがあり、見学はしたが、利用実績はなかった。

(2) 令和7年度事業計画及び収支予算について

指定管理者が会議資料に基づき、議題(2)を説明した。その後、審議した結果、承認された。

<主な意見・質疑>

**【委員】**

ボッチャについてはパラリンピック種目で注目されているが、どこで練習しているか。

**【指定管理者】**

ふれあい作業所 3階 ホールで練習をしている。

**【委員】**

へきなん福祉センターあいくるに広い場所がある。いつもと違う場所でスポーツをすると、もっと活性化すると思う。

**【委員】**

今度、人権擁護委員の活動で、日進小学校を使ってやるのでぜひ参加してほしい。

**【指定管理者】**

昨年、日本福祉大学文化祭の中でボッチャ大会に参加し、そこで他障害施設の方と

名刺交換を行い、交流会の企画の話題となったので、ぜひ挑戦したい。

#### 【委員】

資料11ページ 「④ チームとしての支援をしていく」について具体的に教えてほしい。

#### 【指定管理者】

夕方に開催しており、実際に職員が利用者の立場を理解する内容。担架や車椅子に乗ったり、絵カードを使用した意思伝達手段（PECS）の研修を受けた職員から、事業所への職員への研修などを行っている。

### 7 まとめ（日本福祉大学教授 青木 聖久）

以下の4点について、講評があった。

#### ・普及啓発

特別支援学校と一緒にいる点がすごく良い。花を中心に活動している様子を市ホームページで動画を流したりすることも効果があると思う。

#### ・働くことの大切さ

障害者が働くということは一般就労につながりにくいですが、法律が改正され、どんどん働くようになってきている。働くことで自己肯定感につながることもなる。

#### ・余暇活動

非日常の体験となっている。働くこと・余暇活動を含めて、障害がある方が生き生きとしている背中を多くの方に伝えてほしい。生活しているなかで「障害」が近くにない家庭がたくさんある。なかなか「障害」をイメージしにくい環境であるため、積極的にアピールしてほしい。それが社会貢献にもなる。

#### ・チームワーク

職員同士の研修を月1で実施しているのが素晴らしい。可能であれば発表する場があると、付加価値が非常にある。何のためにこの研修を実施していて、将来的にどのような効果があるのか考えることが、チームの中で相乗効果があると思う。